

本大会は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止対策を講じて実施します。よって、無観客開催として行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

選手の皆様へのご案内

このたびは、「第7回びわ湖トライアスロンin近江八幡」に参加いただきありがとうございます。競技参加に当たっての注意事項をお知らせします。本書の内容を十分にご理解いただき、安全な競技運営にご協力をお願い致します。スタッフ一同、皆様の笑顔のフィニッシュを楽しみにしています。

基本注意事項

【競技面】

- ・本大会は、(公社)日本トライアスロン連合(JTU)競技規則に準拠し、大会ローカルルール(本案内書に記載)を制定して実施します。JTU 競技規則：http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/rulebook_20190123.pdf
- ・集合して対面での競技説明会を開催しませんので、参加される全ての選手(リレーは各種目)は、必ず本案内書を熟読し、スケジュール、ローカルルール、タイムペナルティ、QRCheck-in(健康チェック・競技ルール理解度テスト・前日受付でQRコード表示)等の適用など重要事項を理解して競技に参加してください。
- ・ローカルルールに変更が生じた場合は、HP掲載の内容が最終となります。
- ・ドラフティング違反やその他の違反があった場合は、タイムペナルティの対象となります。また、危険行為や他の競技者への妨害、大会スタッフへの暴言等は、失格の対象となります。
- ・スイム競技では、スタンダード及びスプリントタイプはウェットスーツの着用を義務付けます。(ラッシュガード不可)
- ・バイク競技は、ドラフティング禁止です。
- ・前開き(前ファスナー付き含む)のレースウェアは、原則として使用禁止です。前ファスナー付きウェアの場合は、ファスナーを完全に閉じてください。
- ・自転車はロードレーサーもしくはトライアスロンバイクを基本とします。事前にバイクショップなどで十分整備しておいてください。
- ・バイク乗車時は、必ずバイク競技用の硬質ヘルメットを着用してください。(競技時以外の練習なども含む)
- ・携帯電話、スマートフォン等の通信機能を持つ機器、ならびにヘッドホン等のオーディオ機器の競技中の使用、競技中のビデオ又はカメラでの撮影は禁止します。失格としますのでご注意ください。
- ・腕時計、心拍計測器、サイクルメーター(GPS式を含む)の使用は認めますが、スマートフォン等の使用は禁止)
- ・ペナルティを科せられた選手は、競技タイムにペナルティータイムが加算されます。
- ・各種目の制限時間をこえて競技を続行する事はできません。
- ・選手は、**競技中以外は必ずマスク**の着用をお願いします。
- ・悪天候等により、スイムの中止もしくはスイムに代えてランの実施や全体の距離変更する場合があります。



【体調面】

- ・(公社)日本トライアスロン連合感染拡大防止対策ガイドラインを基本とした「びわ湖トライアスロンin近江八幡2022感染症対策ガイドライン」に基づいて実施します。
JTU COVID-19 感染拡大防止対策ガイドライン
https://www.jtu.or.jp/national_championships/pdf/covid-19_guideline.pdf
- ・今大会では、QRコードによる受付システム「QR Check-in」を導入し大会前2週間の健康チェックと大会出場に関する競技ルールの理解度を確かめるテストを実施します。
- ・健康チェックにおいて、37.5℃以上の発熱、チェック該当項目にあてはまる場合は出場できない可能性があります。
- ・大会前日の受付時に QR コードが発行されていない選手は出場できません。
- ・自分のペースを守り、早めの水分および塩分補給を心がけてください。
- ・体調不良等により競技を続行することに不安があれば、「リタイア」することも勇気ある決断です。リタイアする場合は、アンクルバンドを近くの審判員に必ず返却してください。未返却や紛失の場合は、5,000円を請求させていただきます。

【気象状況】

- ・気象状況等により競技種目、競技内容が変更または中止になる可能性があります。その場合でも参加費は返納されませんので、ご了承ください。競技中止または競技種目の変更がある場合は、当日朝6時に決定し、メイン会場(休暇村近江八幡)大会本部にて告知します。

【環境面】

- ・競技中は、ボトルやサプリメント等のゴミをコース上で投げ捨てないでください。大会は地元の皆様の理解のもとに成り立っています。地元の皆様への感謝の気持ちを忘れずに競技してください。
- ・バイクコースに牛舎が数か所あります。口蹄疫対策の観点から、以下のご協力をお願いします。
 - トランジションエリアへ入る際、消毒液を散布したマットの上を歩いてタイヤを消毒していただきます。
 - 試走等においても、牛舎に近寄らないようお願いします。

【交通規制】

- ・**スーパースプリント競技開始前の午前7時30分以降、会場周辺は交通規制されますので、車でお越しの方は午前7時30分までに余裕を持って会場入りしてください。**

スケジュール

2022年6月4日(土) 休暇村西館前トランジションエリア右隣の建物(浜側)
13:00~17:00 選手登録(受付)

2022年6月5日(日) 休暇村近江八幡
スーパースプリント(ジュニアの部)

7:00~7:30	トランジションオープン	
7:00~7:45	アンクルバンド配付/ウォームアップ(試泳)	
7:45~7:55	スタートセレモニー	
8:00	スイム一斉スタート	
9:10	競技終了	
10:00~	表彰式	
10:00~13:30	トランジションオープン(バイクピックアップ)	ピックアップ不可時間帯あり

スタンダード(エイジの部)、リレーの部)

7:00~8:30	トランジションオープン	
7:30~8:30	アンクルバンド配付/ウォームアップ(試泳)	
8:40~8:55	スタートセレモニー	
9:00~	スタートは3秒毎に4名ずつのローリングスタート	
13:06	全競技終了	
12:45~13:30	トランジションオープン(バイクピックアップ)	
12:00(予定)~	表彰式(総合の部のみ)	

スプリント(パラの部)

7:00~8:30	トランジションオープン	
7:30~8:30	アンクルバンド配付/ウォームアップ(試泳)	
8:40~8:55	スタートセレモニー	
9:20	スイム一斉スタート	
13:06	全競技終了	
12:45~13:30	トランジションオープン(バイクピックアップ)	
12:00(予定)~	表彰式	

受付

6/4(土) 13:00~17:00 選手登録

- 時間に余裕を持ってお越しください。
スマホのQRCheck-inで、QRコード表示するか事前に画面プリント（PCの場合等）したQRコードをスキャナーで読み取ります。
「当日健康チェックシート」をお渡しします。大会当日、このシート引き換えにアンクルバンドを渡しますので、忘れずにお持ちください。
- QRCheck-inの競技ルール理解度テストに合格すると受付に必要なQRコードが発行されますので、出場決定通知書ならびに顔写真付きの身分証明書と共に受付で提示してください。
- QRコード受付システムの健康チェックで要チェック表示の出た選手は、COVID-19相談コーナーへお越しください。
- リレーの部は、メンバー全員が健康チェックと理解度テストを行う必要がありますので、全員で受付を済ませてください。
- リストバンドを受け取り、その場で装着してください。選手支給品を受け取って受け完了となります。
- リストバンドは、トランジションへの出入り等で必要となりますので、大会期間中は外さないでください。
- 選手支給品の中身を確認してください。
 - レースナンバー（2枚）
 - スイムキャップ
 - ウェットスーツ用ビニール袋（スイムフィニッシュ後のウェットスーツを入れる）
 - ナンバーシール3枚セット
（バイク用1枚、ヘルメット用1枚、残る1枚はウェットスーツ用ビニール袋に貼り付ける）
 - ボディナンバーシール（フィジカルナンバーシール）（2枚） 両上腕に貼付
 - 安全ピン（8本）

6/5(日)大会当日

- サーマルカメラにて選手体温を確認し、37.5℃以上の発熱、風邪症状があった場合は出場できません。
- トランジションの準備を行い、アンクルバンド配付時刻(スーパースプリント7時～、スタンダード、スプリント7時半～)になりましたらアンクルバンド配付テントで「当日健康チェックシート」と引き換えにアンクルバンドをお取りください。
- 受け取ったその場でアンクルバンドを足首に装着し、ゴムバンドで上から補強してください。

制限時間

- スタンダードタイプ
スタートより、スイム1周目25分、スイムフィニッシュ50分、バイク乗車ライン通過1時間、バイク3時間、ラン4時間を制限とします。
- スプリントタイプ
スタートより、スイムフィニッシュ30分、バイク乗車ライン通過40分、バイク1時間30分、ラン2時間10分を制限とします。
- スーパースプリント
スタートより、スイム15分、バイク50分、ラン1時間10分を制限とします。

* 制限時間内であっても、審判員・水上監視員が安全上、競技続行ができないと判断した場合は、リタイアを宣告することがあります。

ペナルティー

- 選手の皆様へのご案内に記載した注意事項やドラフティング違反、その他の違反があった場合は、タイムペナルティの対象となります。また、危険行為や他の競技者への妨害、大会スタッフへの暴言等は、失格の対象となります。違反があった場合、1回につきスタンダードタイプは2分、スプリントは1分、スーパースプリントは30秒のタイムペナルティとし、2回の違反で失格となります。

トランジション (バイクスタート)

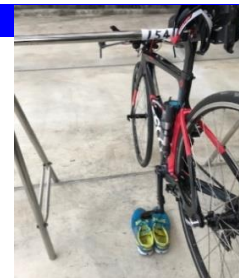
- ・トランジションエリアには選手本人しか入れません。
- ・トランジションエリアには、競技用具以外の荷物を置くことはできません。持ち込み可否は審判が判断します。
- ・競技時間以外では、前記トランジションオープンの時間帯以外は、トランジションエリアに入れません。
- ・競技用具は、バイクラックのナンバーシールを貼り付けてある側に、最小限の広さに収めて置いてください。
- ・バイクラックへのバイクの掛け方 **(写真を参考)**
バイクラックのナンバーシールを貼り付けてある側にハンドルバーが来るように向けて、バイクラックにサドルを掛けてください。
- ・スィム後脱いだウェットスーツは、支給されたビニール袋に入れて、自身のトランジションスペース内に置いてください。



トランジション (バイク競技終了)

バイクゴール後はバイクラックのナンバーシールを貼ってある側からサドル**(写真を参考)**を掛けてください。

バイクスタート時とは逆に掛けます。



アンクルバンド配付/試泳

- ・トランジションのセッティングを終えてから、アンクルバンド配付テントへお越しください。**当日健康チェックシートを提出**してアンクルバンドを受取り、その場で足首（左右どちらでも可）に装着し、ゴムバンドで上から補強してください。
- ・試泳の前に着用のマスクは所定のごみ箱に廃棄し、終了後は新しいマスクを受取り着用



スイムスキップ申請

- ・当日にスイムスキップ申請が可能です。ただし、記録上は参考記録になります。スーパープリントは7時45分までに、スプリントとスタンダードは8時30分までに申請（アンクルバンド配付所）してください。
- ・スイムスキップ者のバイクスタート時刻は、スーパープリントは8時15分、スプリントとスタンダードは9時40分とします。

レースナンバー/ボディマーキング

- ・レースナンバーはバイク競技においては背面に、ラン競技においては正面に、バイク及びラン競技で共通のウェアを使用する場合は前後に取り付けてください。
- ・ナンバー(ゼッケン)ベルトは使用可能です。バイクパートでは後ろから、ランパートでは前からナンバーカードが確実に確認できるようにしてください。ゼッケンベルトに前後(2枚)付けることも可能です。
- ・事前に(自宅、ホテル等で)各自でボディナンバーシールを両腕に貼り付けてください。
- ・パラの部の方で両腕に貼り付けできない方は、貼り付け可能な位置に貼ってください。同封の「貼り付け方法」をよくご確認ください。
- ・バイク用レースナンバーシールは**サドル下**の左側に貼ってください。
- ・ヘルメット用ナンバーシールは**正面**に貼ってください。



スイム

- 支給された大会スイムキャップを必ずかぶってください。
- メガネ預かりデスクを設置しますので各自で袋に入れてナンバーを書いてください。
スタンダードのスイム2周回は一度岸に上がって三角コーンを回ってから、再度泳ぐ様にしてください。
- スタンダートタイプは、ローリングスタートを採用します。スイムの速い人順（自己申告）順に、4名づつ約3秒間隔でスタートします。

バイク

■スーパースプリント／スプリント／スタンダード共通

•ハンドル

ドロップハンドル、ブルホーンは使用できますが、T型(フラットバー)ハンドルは使用禁止です。



スーパースプリントはDHバー使用禁止です。

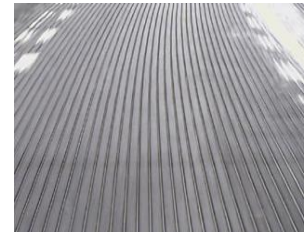
- ヘルメットは、バイクラックからバイクを外す前にかぶって、ストラップを締めてください。
- バイクフィニッシュ後は、バイクをバイクラックに掛けてからストラップを外して、ヘルメットを脱いでください。
- トランジションエリア内およびトランジションエリアから乗降車ラインまでの間は、バイク乗車禁止です。
- バイクの乗車は、選手の片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面についてから乗車してください。乗車ラインを通過してからもバイクを押して走ることが可能です。
- バイク降車は、降車ライン手前の地面に、片足が完全についてから降車してください。
- 本大会はドラフティング禁止ルールにて実施します。（2回目のドラフティング違反は失格になります）
- ドラフティングゾーンは前走者のバイクの先端より後方10m、横幅はコース幅となります。追い越し時に限り、20秒以内であれば前走者のドラフティングゾーンに入ることができます。
- 追い越し時以外のバイク走行中は、常にキープレフト（左側走行）を遵守してください。
- バイクコースにエイドステーションはありません。各自バイク専用ボトルを用意してください。
- ペットボトルに関しては専用ゲージがついていても使用禁止とします
- バイクスタートから700m～1000m地点の急坂部の路面に、細い縦溝が掘られています。十分注意して走行してください。



コースの距離や周回数はコースマップを参照してください

■スーパースプリント：2km（片道1km）コースを5周回します。

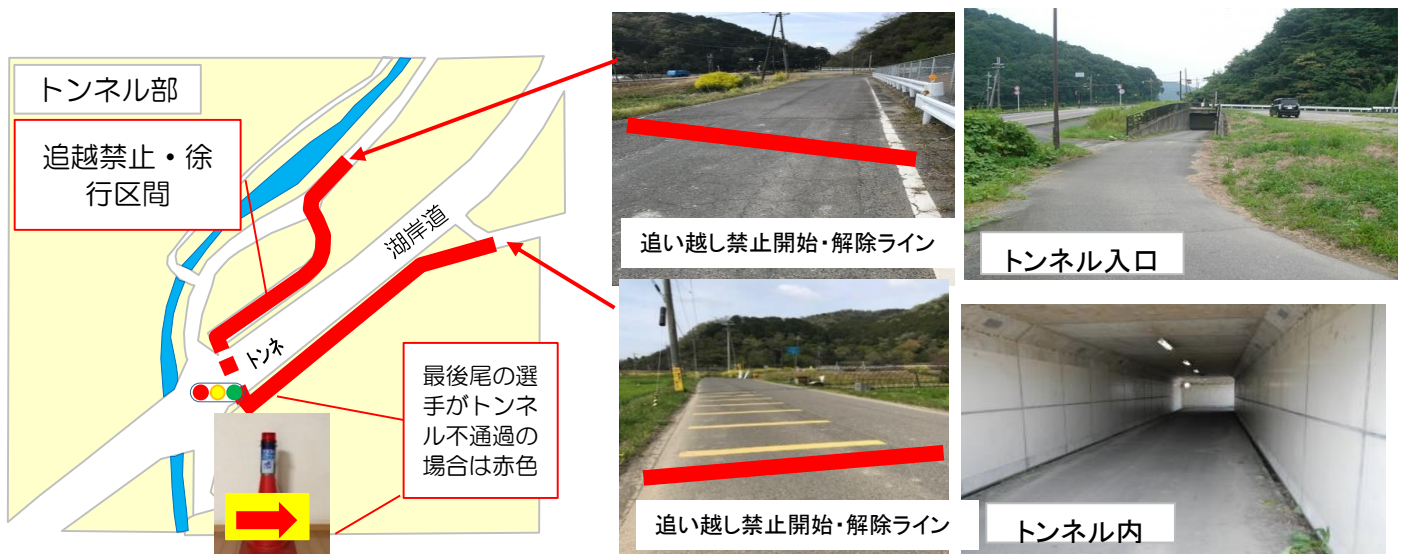
- 周回数は各自でカウントしてください。
- アップダウンが続くカーブの多いコースです。特に下りでは走行に注意してください。



■スプリント/スタンダード共通

・追越禁止・徐行区間

湖岸道路をくぐるトンネル前後、および周回コース合流部分は、道幅狭く急カーブのため、追越禁止・徐行区間とします。スタッフの指示に従い、十分減速して走行してください。



- ・スタンダードの周回コースは左回り（反時計回り）で5周回です。周回数は各自でカウントしてください。
- ・サイクルメータの取付を推奨します。5周回終了すると、走行距離は約34kmとなりますので、周回数確認の目安としてください。
- ・スプリントの周回コースは左回り（反時計回り）1周回です。
- ・周回コース部は、一般車両の交通は規制していますが、農耕車両はコースを通行する場合があります。スタッフの指示（減速、停止等）があった場合は、指示に従ってください。
- ・周回コースへの合流部手前の県道交差点は、徐行または一時停止していただく場合があります。スタッフの指示に従ってください。
- ・周回合流部は道幅が狭くなっていますので、十分減速して合流してください。

ラン

- ・ランコース上は、左側を走行してください。
- ・周回数は各自でカウントしてください。
周回確認は行いますが、周回数のお問い合わせにはお答えできません。
- ・エイドステーションは、周回コース内に1か所のみです。

フィニッシュ

- ・今回は同伴フィニッシュを禁止します。
- ・フィニッシュ後は、アルコールで手指消毒し、マスクを受け取り着用してください。
- ・アンクルバンドを自分で外して、所定の回収ボックスに入れてください。
- ・ペットボトル飲料を受け取ってください。

リレー

- ・リレーゾーンでアンクルバンドを次の選手に引き継いでください。
 - ・スタート前にマスクを外して所定のごみ箱に捨ててください。
 - ・種目を終えた選手は、手指消毒した後にマスクを受け取り装着してください。
 - ・バイクパートの選手は、ヘルメット、バイクシューズを着用して待機しても構いません。
 - ・リレーの部のみ、種目のスキップを認めます。ただし、記録上は参考記録になります。
- スタンダードタイプ
- スィムスキップ/リタイアの場合 : バイク選手は9時40分以降にリレーゾーンをスタートします。
 - バイクスキップ/リタイアの場合 : ラン選手は11時30分以降にリレーゾーンをスタートします。
- 途中リタイアの場合など、アンクルバンドの引継ぎができない場合は、スタッフの指示に従ってください。

リザルト

- ・レース会場での記録速報の掲示はありません。
- ・総合上位入賞者のみ本部前で掲示発表します。
- ・大会当日の記録・完走証の配付はありません。
- ・大会公式記録及び完走証は、後日大会HPよりダウンロードできます。

荷物預り

- ・荷物は、トランジション横の荷物預りテントに預けることができます。
- ・貴重品はお預かりできません。ご自身で管理をお願いします。
- ・荷物返却受取りの際は、リストバンドの提示をお願いします。

その他ご注意いただきたいこと

- ・大会前の試走について
大中の湖干拓地は全て農道です。一般車両の通行はご遠慮ください。
自転車で走行される場合は交通ルールを守り、集団走行や並走はしないで、安全な速度で走行し、農業・畜産業に携わる方優先をお願いします。
- ・宮ヶ浜および休暇村駐車場内での車中泊、テント泊は禁止です。